

# 小菅新市長の初議会

12月議会が4日からはじまりました。小菅市長が初めて市議会に出席し、提案理由の説明、総括質疑の答弁を行いました。

信の一端」として、「信頼と誠実」を旨とし、「市民一人ひとりに寄り添いながら、安心して心豊かに暮らせるまちづくりを推進していく」などとのべました。議会に對しては、「政策を中心とした、健全で活発な議論を重ねてまいりたい」とのべました。これらの言葉は、いろんな場面で使われることになるでしょう。左のイラストは提案理由をのべている小菅市長です。

総括質疑では日本共産党議員団の上野団長が、「課題の優先順位をどのようにつけて解決するのか」「丁寧な対話とはどのような手法をとるのか」「消雪用井戸水活用のための配管工事など今夏の渴水対策に要した経費の一部について、県に負担を求めるないの

か」と質疑を行いました。市長は、「優先順位は緊急性や実効性などを総合的に考慮して定める」「来年度の当初予算案に織り込むとともに、来年度策定予定の第7次総合計

画後期基本計画で施策や成果指標などを整理して市議会や市民に示す」「今後も地域に出向き、直接会って意見や提案を聞く」などと答弁しました。

注目したのはガス水道局の高橋管理者の答弁です。「断水を回避するため、消雪用井戸からの緊急取水工事などで約8億8000万円かけた。今夏の渴水の大きな要因である破断した水圧管路については市と県が締結している『上越利水総合開発事業に関する基本協定書』、『上越利水共同施設の管理に関する協定書』により、県と上越市の共同施設とされ、その管理は県が行うことになっている」「市が行つた緊急配管工事などに要した費用は、今後、一定の負担を県に求めていく」

せ語り金剛口に繋がりたい」とのべたのです。今後の動きを注視していきます。

17 施設の使用料引き上げ  
案が出され、審査

今定例会では、市立水族博物館、旧ピットバレイスキーコース、くるみ家族園、吉川ゆつたりの郷など17施設で使用料などの見直しを内容とする条例の一部改正議案が提案されました。いずれも、「近年のエネルギー価格高騰等の影響を受け、運営にかかる維持管理経費が増加している」ことを理由に、利用料金の上限額を引き上げることが内容です。

公の施設の使用料などの見直しにつ

は、浴場利用料金を個人で、一般が420円から600円に。小・中学生が

上げる（団体は別料金）くるみ家族園の条例改正について、日本共産党議員団の平良木議員が、「今議会では多くの施設での引き上げ案が議論されましたが、ここは福祉課の管轄で、福祉施設の一つであり、重要な施設だ。また、ここは廃熱利用だ。他の施設との違い（を意識して）議論してきたのか」「指定管理料のとセットで提案しないとおかしいのではないか」などと質問しました。

これに対しても、担当課長は、「（ご）み焼却の廃熱利用だけではなく）灯油も使っているなかで、施設として維持

これに対しても、担当課長は、「（…）み焼却の廃熱利用だけではなく）灯油も使っているなかで、施設として維持していくには引き上げが必要だ。指定管理料については値上げ後、様子を見ながら検討していきたい」と答えていました。この議案には平良木議員は反対しました。

# 私の一般質問は16日

# 私の一般質問は16日

一般質問は 11 日から始まつていま  
す。今議会の質問者は 27 人です。  
私は 16 日の午後に登壇する予定で  
す。質問テーマは県立松代病院と柿崎  
病院についてと市民の消火栓使用につ  
いてです。傍聴にぜひおいで下さい。



【イチゴ】バラ科の多年草。漢字で「苺」と書きます。ハウスの普及により、今までこそいつでも食べられるようになりましたが、私が子どもの頃は露地栽培のみで、春から初夏にかけて収穫されていました。実がいつ赤くなるかと楽しみにしていたものです。花期は4月から5月。花言葉は「幸福な家庭」「先見の明」。8日に友人の家で撮影しました。

# はしづめ法一の 活動レポート

**No.2231 2025.12.14**  
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3627  
通じないときは 090-5392-1961  
E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp  
URL <https://www.hosei.jp/>



ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

檢 索

春よ来い

# 第八七八回 夕焼け(2)

教えてくれました。

浴槽につかってからもう一人の話は続きました。Hさんのところには昔、横井戸があつたことを思い出し、「横井戸、まだ使つていなれば、水道の水もいらないんじゃないの」と言うと、「いまはもう使つていなくて、水道水にしている」と言わされました。そりや、そうですよね。私が知っているのは、もう三十年くらい前のことですから。

昔と同じように使っているものと言えば、行火（あんか）の話も出ました。工さんとのところでは、いまも豆炭行火を使っているとのことでした。「あれは、暖かいよね」と言つたら、「二十四時間、暖かいんだわ。布団自体もよく温まるし……」といふ言葉が返つてきました。

「さんは若づくりなので、私よりも、三歳若いと思って、「歳は七十、超えなったかね」と尋ねたといい、なんと私よりも二つも年上で七七歳だと。これにも驚きました。

それだけではありますん。週に何度かは大潟区で仕事をしているというのです。それもあって、仕事が終わって、夕方の六時前に遊ラン্ডに来られるときはお風呂に入っているということでした。

お風呂で知っている人と会うと、どうしても湯につかる時間はいつもよりも長くなります。この日、お風呂から上がって時間が経つても体はポツポツとしていて気持ちいい状態が続きました。

浴室から廊下に出たとき、窓からはまだ赤い景色が見えました。それもお風呂で見た以上に濃厚な赤です。Hさんから教えてもらった煙突の風景は確認できませんでしたが、頸城平野北部の田んぼや湖沼がいい色になつっていました。そして、その奥は日本海です。ふるわとは語ることなし。作家、坂口安吾の言葉を思い出しました。

## 縄文から現代を考える…佐藤雅一さんが講演



ニュースラッシュ

## 上越地域各消防署における 空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり  
0.016~0.16 $\mu$ Sv(マイクロシーベルト)だと  
のことです。

	12月3日(水)	12月10日(水)
上越消防署	0. 050	0. 053
上越南消防署	0. 047	0. 047
新井消防署	0. 047	0. 053
頸北消防署	0. 050	0. 053
頸南消防署	0. 060	0. 067
東頸消防署	0. 047	0. 057
名立分遣所	0. 047	0. 060
高士分遣所	0. 053	0. 057

に火があつて、明るさ、暖かさをもたらす。現代では、これに代わるもののがいまだに見つかってないのではないか。

興味深く聴いたのは、吉川区尾  
神の岩戸に関連して、岩戸の東側  
にある「さざれ石」は「はらみ  
石」であり、石の中で石が生まれ  
たもの。岩戸と「さざれ石」はリ  
ンクしていく、意味があるのではないか  
といふ指摘です。もう少し  
詳しく聴きたいと思いました。

講演では初めて聴くことが多く、とても勉強になりました。

びっくりしましたね。その男性は親戚のHさんだったのです。Hさんは同じ吉川区に住んでいながら、なかなか会うことはありません。遊ラングの浴室で一緒になつたのはおそらく初めてでしょう。遅れて入ってきたHさんが洗い場から浴槽に移動してからは、二人で立つて夕焼けを眺めながら、いろいろと話をしました。「夕日が沈む場所は、どんどん左の方に行くよね」と私が言うと、Hさんも頷きながら、「もう少し、暗くなると、発電所の煙突にある灯りが見えるんだわ」と言って浴室から見える魅力的な風景のワンシーンを

ても湯につかる時間はこつもよりも長くなります。この日、お風呂から上がって時間が経つても体はポップとしていて気持ちいい状態が続きました。

浴室から廊下に出たとき、窓からはまだ赤い景色が見えました。それもお風呂で見た以上に濃厚な赤です。Hさんから教えてもらった煙突の風景は確認できませんでしたが、頸城平野北部の田んぼや湖沼がいい色になつていました。そして、その奥は日本海です。ふるわるとは語るにとなし。作家、坂口安吾の言葉を思い出しました。